

公益財団法人茨城県国際交流協会

事業名	国際理解教育推進及び茨城県留学生親善大使交流事業						
実施期間	2014年5月～2015年1月						
場 所	茨城県内小中高等学校及び生涯学習施設等						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	327	7574	10	35	7	2080	10033 名

＜実施内容＞

公益財団法人茨城県国際交流協会では、当協会のほか、関係8団体と茨城県国際理解教育推進協議会を組織し、連携してワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業を展開しています。県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、生涯学習関連機関等に留学生等の外国人講師を派遣し、参加者が様々な国の習慣や文化を知り、国際理解を深める機会を提供しています。



留学生親善大使任命式



中国の紹介をするゴさん



ロシアの紹介をするエリザベータさん



子どもたちの日本文化の発表を聞いているエリザベータさん

ワールドキャラバンとは、外国人講師が母国の生活習慣、衣食住、学校生活などを紹介し国際理解を深める事業です。派遣先の多くは、小学校、中学校、高等学校で、今年度は89団体108件の派遣を行う予定です。

子どもたちはその国の文化を外国人講師から直接学ぶことができ、写真や国旗、民芸品、民族衣装などを通して外国を身近に感じることができます。活動は様々で、なかには母国の料理を紹介して一緒に作ったり、その国の子どもたちの遊びや歌、ダンスなどを教えてもらい、一緒に体を動かしたりもします。子どもたちも講師の国について事前に調べたり、講師の話聞いて疑問に思ったことを質問したりすることで、より有意義な時間を過ごすことができます。

また、子どもたちから講師へ、学校の様子や日本の文化を紹介することもあります。留学生にとっては、日本の学校を訪問し、子どもたちの学校生活を実際に見たり、一緒に給食を食べたりして触れ合うことは良い経験です。ワールドキャラバンは、お互いの文化に直接触れ合う貴重な機会となっています。

<参加者からのコメント>

ゴ ブンセイさん(中国)/Wu Wenjing

日本の学生に接触するのは初めてで、彼らにはシャイなイメージを持っていました。真剣に私の話を聞いて、そして真面目にノートを取るの印象的でした。誰も礼儀がよくて、きちんと挨拶をしてくれました。そして最後に学生さんから絵をもらいました。その時思ったのは、日本人は「感謝の気持ち」を大事にしていることです。そしてその気持ちをちゃんと伝えるんです。その感動が心に残りました。(城里町立石塚小学校派遣)

ドルゴシェイナ エリザベータさん(ロシア)/Dolgosheina Elizaveta

障害を持っている子どもたちでしたが、教室は明るく賑やかでした。たくさん質問をされて、私の話をちゃんと聞いてくれました。また、生徒たちによる日本文化の紹介で、私が知らないことも出てきたのでとても面白かったです。みんなが私のために3週間も準備をしてくれて、たくさんプレゼントもくれて、本当に嬉しかったです。(茨城県立土浦特別支援学校派遣)